

イズミル経済大学月例報告書

文化政策学科 志賀彩月

はじめに

みなさんこんにちは。気づかないうちに12月になっていて2023年も終わろうとしています。こちらの冬は寒い日もありますが浜松と変わらないか暖かく過ごしやすい冬です。最近食べすぎと運動不足を実感して週末の朝走りに行ったりしています。心にも体にもよいリフレッシュになります。さて今回は授業について思ったことと12月と言えばクリスマス！なのでそれについて書きたいと思います。



授業について

私は今学期5つの授業を履修しています。言語系は英語とトルコ語の授業、あとの3つはビジネス学科の授業です。授業形態は1コマ45分、授業は2~4コマ連続で行われます。1コマ終わるごとに10分間の休憩があるのですが、4コマ連続で同じ授業だとさすがに疲れます。最後のコマになると帰る人がいて学生がいなくなったり、先生が疲れてしまったりして早く授業が終わることがよくあります。履修の際驚いたのは、同じ先生の同じ授業が週に2、3回あることです。学生は自分に都合の良い時間の授業を選ぶことができ便利です。しかし、先生にとっては同じ授業を週に2回やらないといけないのでとても大変だろうと思います。調べたところ約8000人の学生がいるということですが1クラス30人ほどなので、少人数で授業をやる方針があるのかなと思います。

全ての授業は教室にあるカメラで録画されていて授業が終わるとblackboardという学習サイトにアップされるので、授業に来なくても授業を受けることはできます。そのためか授業に2コマ目から来たり途中で帰ったりする生徒が多いです。



私の時間割です。一限があるので大学の近くに住めて本当によかったです。

日本との違い

私がイズミル経済大学で授業を受けていて日本との違いに驚いたことがいくつかあります。1つ目は先生がとても元気で積極的だということです。日本語と英語の話し方のトーンの違いのせいなのかもしれませんが、授業に参加しようという気持ちにさせる話し方をするので授業を真剣に受けることができている。日本だと居眠りしてしまう学生が多くいますが、ここでは寝てる人を見たことがありません。これにはとても驚きました。2つ目は学生が先生の問いかけに応えたり、授業中に議論したりすることです。日本だと先生が質問したときになかなか答える人がいないので受動的な授業になりがちですが、ここでは自分の意見をしっかりと言える人が多いです。他の人の意見を聞いて自分の理解も深めることができるので楽しいです。他の人がどう思うかを気にしてしまいがちですが、みんな特に自分のことなど気にしていないと気づいたので、次の学期は質問や議論に参加することを目標にしたいです。3つ目は課題についてです。中間テストが終わってから毎週何か小さなクイズやプレゼンテーションがあったり12月は忙しかったなと思います。エッセイやケーススタディが多く、授業で学んだ理論や知識を用いて自分の意見を書きます。私は英語で書くのがとても遅いので苦戦しています。また年明け早々から期末テストがあるのでお正月にごろごろする暇はありません。

(泣)

Christmas dinner 1



イタリア人の友達にクリスマスディナーに招待してもらいました。自分の国のクリスマスディナーを持ち寄りました。(私はワインと折り紙のサンタを作っていました笑) イタリアのパスタwith 本場のパルメザンチーズ、ポーランドのピエロギ、キルギスのピラフ、チェコのポテトサラダ、ポルトガルのエッグタルトなどいろんな国の料理がありどれもおいしかったです。トルコにいますがヨーロッパのクリスマスディナーを体験できてとても楽しかったです。みんなが帰ってしまう前にもう少し会話に入れるようになりたいです。

Christmas dinner 2



12月24日は家で私たちとスロバキアの友達でパーティーをしました。カチューシャを付けたり部屋を飾ったりプレゼント交換をしたりディナーを作ったりとても楽しいクリスマスでした。トルコでは日本と同じくクリスマスよりもニューイヤーの方が大事だということと宗教が違うということで盛大にクリスマスはやりませんが大きなツリーがあったりと気分が上がりました。トルコではクリスマス用品をニューイヤーに飾るらしいですよ。

交通事情

今までで2回乗っていたバスが事故を起こしました。一回目は前に止まっていた車にぶつかって車の後ろとバスの前のガラスが割れていました。衝撃を感じましたが誰もけががなくて良かったです。そのバスは運行できないので途中で降ろされ目的地まで歩きました。電車や船は日本と変わらないと思いますが、バスと車は信じられないくらい運転が荒いです。たくさん人が乗っているし、車がギリギリなのに物怖じせずアクセルを踏むのはすごいなと思います。バスを乗るときには座るか手すりを持つようにしましょう。歩行者も信号を守りません。何度かひかれそうになりましたが、今は順応しています。事故に遭わないように気を付けて生活します。

今月の動物

今月はなんと馬です。住んでいる町の商店街で見つけました。レモンやブロッコリーの野菜の台車を引いて売っていました。近くに馬がいるとは思ってなかったので驚きました。



感想・反省

今月も楽しかった！という気持ちを持っています。大変なことがあってもそれを乗り越えたんだという事実を自信にしてへこまないようにしています。日本にいないと気づけないことに気づいて学びを得たり、違う国の人とその国の人としてでなく個人として関係を築くことができうれしいです。来年からも気持ちを切り替えて悔いのないように過ごします。



←ナザール・ボンジュウは目玉をモチーフにしたトルコのお守りで、他の人の嫉妬から自分を守ってくれます。

Seneye görüşürüz!は年末に使われるトルコ語のジョークで、また来年という意味です。友達が教えてくれたのでトルコ人の友達に言ってみようと思います。笑では、

Seneye görüşürüz!